

優良家庭犬普及協会のマニフェスト *Live together!* 日本の犬文化を向上しよう!

● ヒトと犬の「快適な」共生



優良家庭犬普及協会

ここ10年で、日本におけるペット環境は劇的に変化しました。今や首都圏のマンションの9割が「ペットとの入居可」(*不動産経済研究所調べ)となったり、6割の人がアンケートで「ペットは家族の一員」というくらい、ペットとの生活環境が向上しました。

その一方、内閣府の調査において、6割弱の方が、「飼い主の迷惑行為」について規制や指導を強めた方が良い、と回答しました。

一部の飼い主のマナーの悪さや無責任な行動が、こうした回答の背景にあることは、間違いありません。

私たちは、社会に対してのお手本となる「優良家庭犬®の普及」を通じ、犬を飼う人も飼わない人も、楽しく共生できる社会づくりのために、家庭犬と飼い主の地位向上に寄与させていただきたいと思えます。

衛生面

法律に基づく年に1回の狂犬病注射や、混合ワクチンの接種を義務付け、脚拭きやブラッシングなどの定期的な身体ケアを実行しています。また、適切な場所で排泄をしています。

行動面

動物福祉に基づく、犬にやさしく・分かりやすいトレーニングをしています。また、犬嫌いの人を含む他人や、他の犬に対しても、迷惑をかけないように日々練習しています。

優良家庭犬®試験 15項目 Good Citizen Test

① ビニール袋の提示



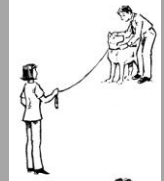
⑨ 楽しく遊んで落ち着かせる



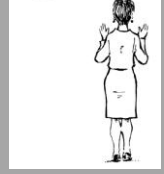
② 他人とのご挨拶



⑩ 遠くから呼びよせる



③ 他人に触られる



④ お散歩約30M



⑪ 他の犬とすれ違う



⑤ 人ごみの中を歩く



⑫ 脚を順番に拭く



⑥ 刺激の中を歩く



⑬ 獣医師検診



⑦ 伏せて待つ



⑭ 留守番



⑧ 座って待つ



⑮ 飼い主の食事中に静かに待機



● 社会の模範となる飼い主と犬のこと ●



優良家庭犬 ちこ



優良家庭犬の証 マント



優良家庭犬の証 パスポート

■ 「社会のお手本となる飼い主と犬のペア」・・・それが、優良家庭犬®です。

優良家庭犬®となるためには、右の15項目の試験項目を全てクリアして合格し、日常生活では、下記の「衛生面」と「行動面」をしっかり管理されている、マナーの良い犬と飼い主であることが条件です。

15項目の試験では、日常的に起こりうる場面での立ち振る舞いの他に、吠えや人への飛びつき、過度な引っ張りの他、犬が「怖がったり」「怯えている」などして、ストレスに感じている犬は、不合格として、犬に負担をかけないように、飼い主に配慮をお願いします。

優良家庭犬普及協会では、社会に対してのお手本となる「優良家庭犬®の普及」を通じ、犬を飼う人も飼わない人も、楽しく快適に共生できる社会づくりのために、家庭犬と飼い主の地位向上に寄与させていただきたいと思っております。
また、社会的な義務と責任を全うする「優良家庭犬」と飼い主の受け入れ先を広げるため、積極的に活動をしています。

衛生面

法律に基づく年に1回の狂犬病注射や、混合ワクチンの接種をし、脚拭きやブラッシングなどの定期的な身体ケアを実行して周囲に配慮しています。また、適切な場所で排泄をしています。

行動面

体罰を使わず、犬にやさしく・分かりやすいトレーニングをしています。また、犬嫌いの人を含む他人や、他の犬に迷惑をかけないように日々、飼い主は練習しています。

① ビニール袋の提示



② 他人とのご挨拶



③ 他人に触られる



④ お散歩約30M



⑤ 人ごみの中を歩く



⑥ 刺激の中を歩く



⑦ 伏せて待つ



⑧ 座って待つ



⑨ 楽しく遊んで落ち着かせる



⑩ 遠くから呼びよせる



⑪ 他の犬とすれ違う



⑫ 脚を順番に拭く



⑬ 獣医師検診



⑭ 留守番



⑮ 飼い主の食事中に静かに待機

